

沖縄) 観光振興新税の税率、結論持ち越し 県は基金提案

沖縄タイムス 2018年11月28日03時00分

シェア 0

ツイート list

ブックマーク 0

スクラップ

メール

印刷



観光目的税制度の導入施行に関する検討委員会の分科会で、新税の使途や税率などについて議論を交わす観光関係者ら＝26日、那覇市の八汐荘

県が2021年度までに導入を目指す観光振興のための新税の導入に関する検討委員会の第1回分科会が26日、那覇市の八汐荘であった。県の担当者やホテル、旅行社、自治体など観光関係者らが新税の課税対象者や徴収方法、使途などについて議論。納税義務者を県内のホテルなどにおける宿泊者とするほか、宿泊日数に応じた課税とすることなどを承認した。また、県は税収の適正な管理・運用のため「沖縄県観光税基金（仮称）」の設置を提案した。

税率に関して県は「1泊当たり、1万円以上1万5千円未満は100円、1万5千円以上は200円」と税額を設定する案を挙げた。しかし、会員からは「1万円未満の宿泊料が対象とならず、税の公平性に欠ける」「税率を設定し宿泊料に応じた課税が必要だ」などの反対する意見が挙がったため、次回の分科会へ持ち越しとなった。

このほか、新税の税収と他の歳入を区別するため、基金の設置を提案。新たな担当部署を置いて観光目的税が別の事業に充てられないように管理するほか、税収を積み立て、特定事業の財源に充てる予算編成の仕組みを設ける。また、基金とすることで、徴収年度に執行できなかった税収を翌年度に繰り越し有効活用できるようにする予定だ。

分科会会長の沖縄観光コンベンションビューローの湧川盛順専務は「観光客数1千万人が目前に迫る中で、県民が快く観光客を受け入れ、持続可能な観光地形成につなげるため、納得いくような税収の使い道を検討しなければならない」と議論を促した。（沖縄タイムス）

関連ニュース

地域ページ トップ

沖縄ニュース

こんな特集も

冷えて眠れないことはありませんか？ (PR)

プロに直接話を聞けるアナリストツアーをレポート (PR)

ダウンベストを着こなすときに気にするべき2つのポイント。(アエラストイルマガジン)

安藤和津さん、娘達に愛と共に引き継ぐ“もの”とは・・・ (PR)

浜辺美波、親を介護する自分を考えてみた (PR)

PR情報

マーケティングの事例とノウハウが満載！ 朝日新聞×ターゲットメディア

トップニュース

朝日新聞デジタルのトップページへ

万博決定の軌跡を写真で

大阪開催が決まった2025年万博。これまでの軌跡を写真で。



紙面にプラス

デジタル限定

PR 注目情報



クイズでわかる介護

浜辺美波、親を介護する自分を考えてみた



テクノロジーの未来像

ICTで豊かな社会の実現を目指し技術はどういった進化を遂げるのか



風邪に抗菌薬は効きません

4児のママ東原亜希さんが質問薬が効かない「薬剤耐性菌」の話

0の状態に残された2000本のワイン

人と人の縁で乗り切れた事業継承

妊活サポートの輪をひろげるために

女性が活躍する輝く社会を目指して

冷えて眠れないことはありませんか？

熟睡のヒントは冷やさないことにある！

アクセスランキング

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

自殺図った？次男「無口でまじめ」 宮崎6人殺害事件

夫作ったハンバーグから睡眠薬…夫婦間でも起きる性暴力

高3カップル、2人きりの自宅 震える彼女に手をかけた

夫の風俗通いの過去、妊娠中に知る 本性見抜けず後悔

母のスマホの位置情報がホテル 高校生は私はどうすれば

ソーシャルランキング

もっと見る

フェイスブック

はてなブックマーク